

Casting Our Eyes
on the Future

視線はまっすぐ未来へ

株式会社 **ア-レスティ**

証券コード：5852

第**96**期 中間
株主通信

2016年4月1日▶2016年9月30日



株主の皆様へ

第96期第2四半期の業績と

コーポレートガバナンス・コードについて



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。
当社グループの中期経営計画の進捗も含めた現状と今後の展望について、社長の高橋がお答えします。
なお、第96期第2四半期の業績については3ページ以下に記載のとおりです。

Q1 「1618中期経営計画」の進捗状況について、第96期第2四半期の業績も含めて、お聞かせください。

アーレスティ10年ビジョン「信頼を究めよう 2025」のありたい姿「お客様からの信頼No.1」、「グローバルで車の軽量化に役立つ」、「売上高2000億円+α」に向けて、2016年から1618中期経営計画を推進中です。アーレスティの全拠点（日本、アメリカ、メキシコ、中国、タイ、インド）において統一された施策に基づいて活動しています。今期からは、拠点ごとの進捗評価から3つの地域ごと（日本、北米、アジア）の進捗評価に変更し、同地域にある拠点が互いに良さや悪さを認識することを

通じて拠点の水準の向上につなげています。また、日本では3か月ごとに、北米・アジアでは4か月ごとに評価会を開催し、実際に現場を見ることに加えて、フェースtoフェースで推進者が意見を交換することを通じて改善の質とスピードの向上につなげています。活動は始まったばかりですが、教育、生産技術や品質システムなど全拠点で統一されたアーレスティプロダクションウェイの構築に向けて積極的に推進しています。

当第2四半期連結累計期間の業績は、1618中期経営計画に基づいた施策展開を着実に進め、売上高66,976百万円（前年同期比7.2%減）、営業利益3,326百万円（前年同期比82.9%増）、経常利益2,857百万円（前年同期比131.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,112百万円（前年同期比142.2%増）となりました。

Q2 コーポレートガバナンス・コードについて、監査等委員会設置会社への移行の影響も含めて、当社の考え方をお聞かせください。

監査等委員会設置会社への移行により、社外取締役3名の体制となっています。監査等委員である社外取締役からは、当社の市場での位置づけや事業計画、安全管理、標準化のありかたなど多くのご意見をいただき、アーレスティの持続的成長に向けてこれらの意見を積極的に経営に反映してい

ます。今後もコーポレートガバナンス・コードを当社の健全且つ持続的成長に向けたツールと捉えて具体的な対応を進めてまいります。

Q3 最後に、株主の皆様にと一言お願いします。

世界の自動車生産はそれぞれの地域における市場環境によって浮沈があるものの、中期的には新興国を中心に市場規模の拡大が続くと考えています。自動車の生産に欠かせないアルミダイカスト、その中でも当社が蓄積した技術・管理能力が活かせる難易度の高い製品を核として持続的成長を目指しています。更に長期的には、自動車の軽量化要求の高まりに対して、鉄に比べて比重が約三分の一のアルミニウムが貢献できると考えています。既存技術に更に磨きをかけると共に、新しい技術へのチャレンジを行いHEV*1やEV*2への対応も進めてまいります。皆様のご支援を引き続き賜りますようお願いいたします。

(用語解説)

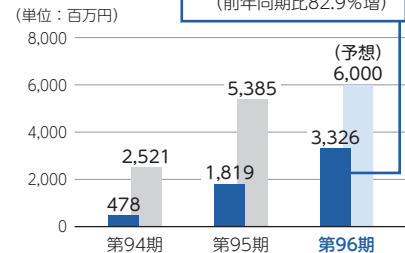
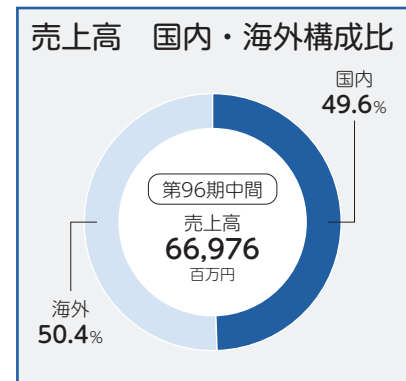
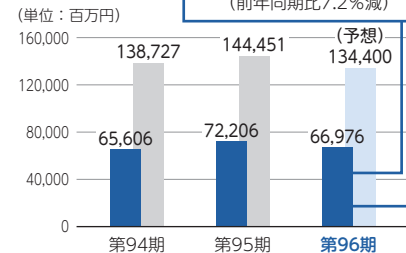
*1 HEV Hybrid Electric Vehicle（ハイブリッド車）の略。電気モータと内燃機関を併用し駆動する車両。

*2 EV Electric Vehicle（電気自動車）の略。内燃機関を持たず、電気モータにより駆動する車両。

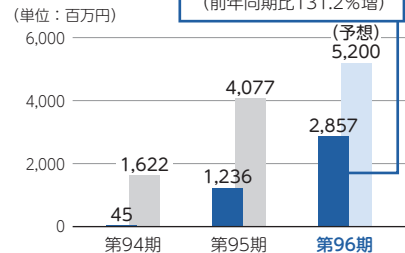
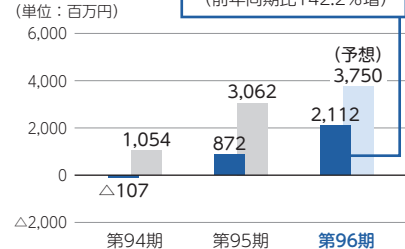
代表取締役社長

2016年12月 **高橋 新**

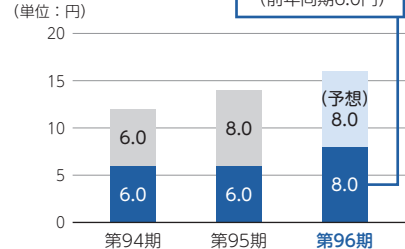
連結決算ハイライト



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



配当金の推移



主要連結財務データ

	第93期 2014年3月	第94期 2015年3月	第95期 2016年3月	第96期 2017年3月第2四半期
売上高	126,783	138,727	144,451	66,976
営業利益	4,449	2,521	5,385	3,326
経常利益	4,012	1,622	4,077	2,857
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	6,272	1,054	3,062	2,112
1株当たり四半期(当期)純利益	287.10	40.85	118.50	81.75
総資産	137,233	148,831	141,694	126,489
純資産	54,592	62,103	61,460	56,613
1株当たり純資産	2,110.89	2,400.55	2,372.85	2,184.05
年間配当・中間配当	14.0	12.0	14.0	8.0

第2四半期決算のポイント

売上高669億円(前年同期比7.2%減)、営業利益33億円(前年同期比82.9%増)

【売上動向】

- 円高基調の為替影響やアルミ地金市況下落の影響で、受注量は増加するも、売上は減少しました。
- 中国では、小型車減税の効果もあり受注量が増加しました。

【利益動向】

- 北米の生産性改善が進み、大きく収益に貢献しました。

■ 通期の見通し

【売上】 連結売上高 当初計画を下回る予想

- ダイカスト日本、米国、中国の受注は期初計画通りの水準又は増加を見込んでいます。
- メキシコで生産終了による受注減、インドでディーゼル車の販売量減少による受注減を見込んでいます。
- アルミ地金市況下落の影響、想定為替レートの変更による影響を見込んでいます。

【利益】 営業利益 増益を予想

- 原価低減効果、販売増による効果を見込んでいます。

■ (ご参考) 中期経営計画

10年ビジョン

信頼を究めよう 2025

ありたい姿

- お客様からの信頼No.1
- グローバルで車の軽量化に役立つ
- 売上高2000億+α

1618中期経営計画

大型高難易度製品の顧客 評価No.1を実現する

ものづくり を究める

生きいきと活動 する会社を築く

収益力 を高める

リスク管理 を徹底する

1618中期経営計画 経営目標値

売上高 1,500億円

売上高営業利益率 5.5%

総資産当期純利益率 (ROA) 3.0%

自己資本当期純利益率 (ROE) 7.0%

当社IRサイトで第2四半期決算説明会の資料を掲載しています

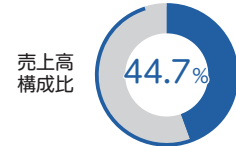
機関投資家向けに2016年11月29日に開催した、第2四半期決算説明会の説明会資料、参考資料などを掲載しております。本冊子と合わせてご参照ください。



事業別の概況

ダイカスト事業

日本

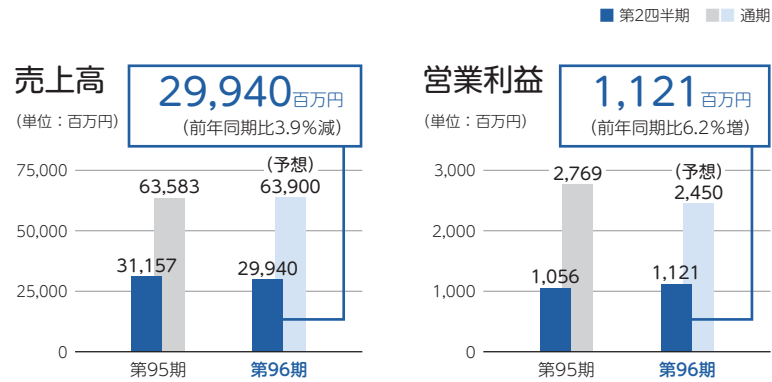


売上高

- ・北米向け輸出好調による受注増加
- ・アルミ地金市況下落の影響で売上減少

営業利益

- ・販売量増加と製造コスト低減による増益



北米

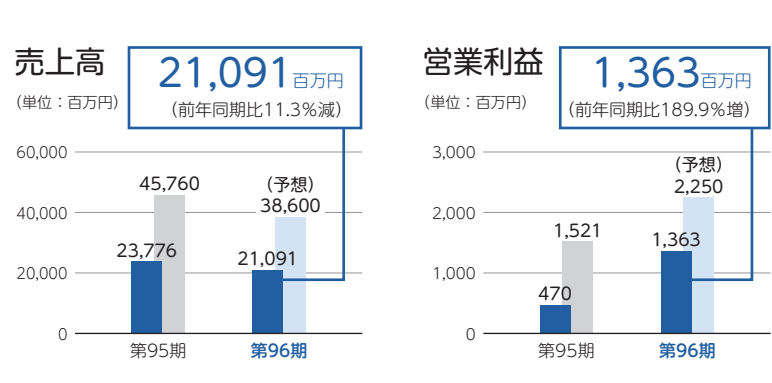


売上高

- ・ライトトラック系部品の受注増加
- ・一部顧客の生産終了に伴う受注減少
- ・アルミ地金市況下落及び為替の影響による売上減少

営業利益

- ・アメリカ・メキシコの生産性改善による増益



アジア

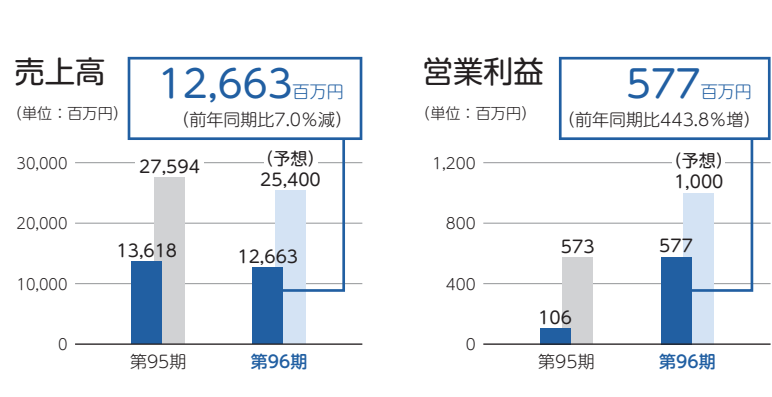


売上高

- ・中国の小型車向け新規部品立上げによる受注増加
- ・インドのディーゼル車離れによる受注減少
- ・アルミ地金市況下落及び為替の影響による売上減少

営業利益

- ・中国における販売量増加による増益



Operating Results by Segment

ダイカスト事業

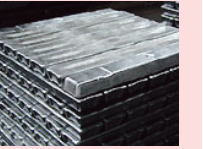
70年以上のたゆまぬ研究開発で育んできた高い技術により、自動車のエンジン、トランスミッションなどを中心に様々なダイカスト製品を製造・販売しています。



ダイカスト製品の特徴は、生産性の高さと寸法精度に優れており鑄肌が美しいことです。その特徴を活かし、複雑な形状で大量生産が必要な自動車部品などに多く用いられています。

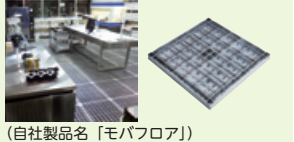
アルミニウム事業

缶、サッシ、自動車スクラップなど多様な原料をもとに、厳しい管理のもと、品質の優れたアルミニウム合金地金を製造・販売しています。



完成品事業

フリーアクセスフロア（配線・配管を床下に収める2重床システム）のアルミニウムダイカスト製フロアパネルを製造・販売しています。



アルミニウム事業

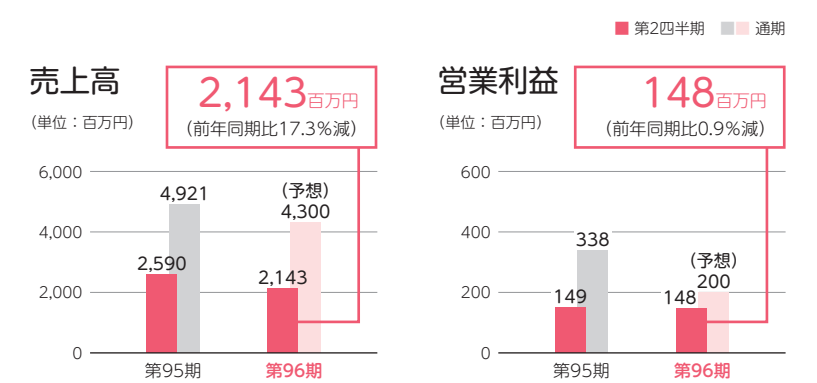


売上高

- ・アルミ地金市況変動による販売価格の下落

営業利益

- ・原材料価格の下落
- ・原価低減活動による効果



完成品事業

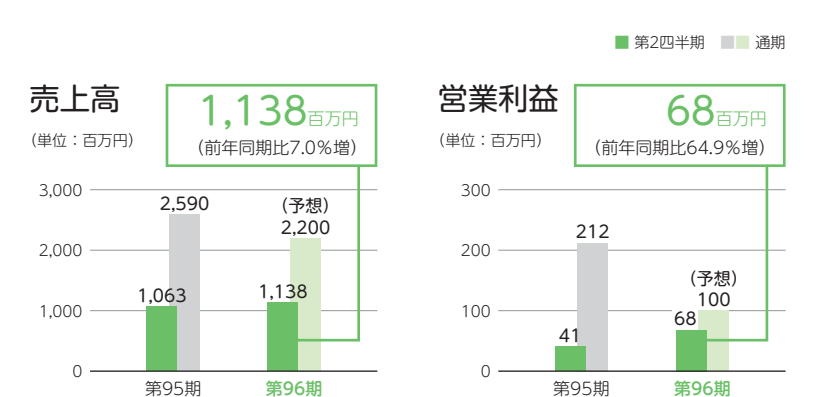


売上高

- ・半導体関連企業のコンピュータールーム向け物件やクリーンルーム向け物件の受注増加

営業利益

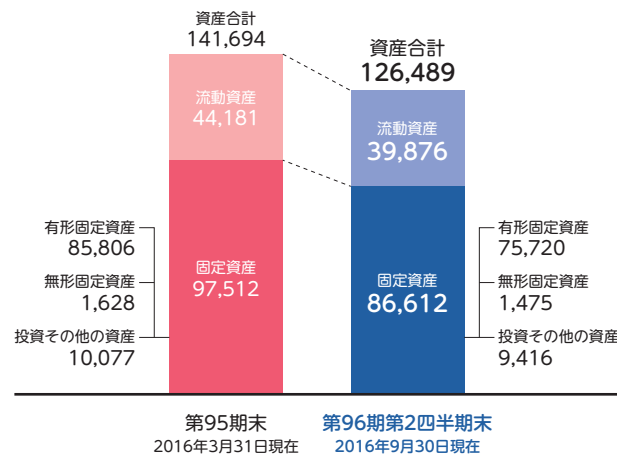
- ・増収効果等



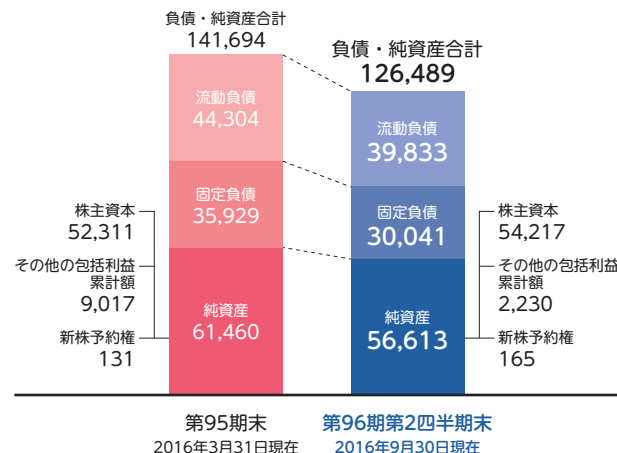
連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の概要

資産の部 (単位: 百万円)



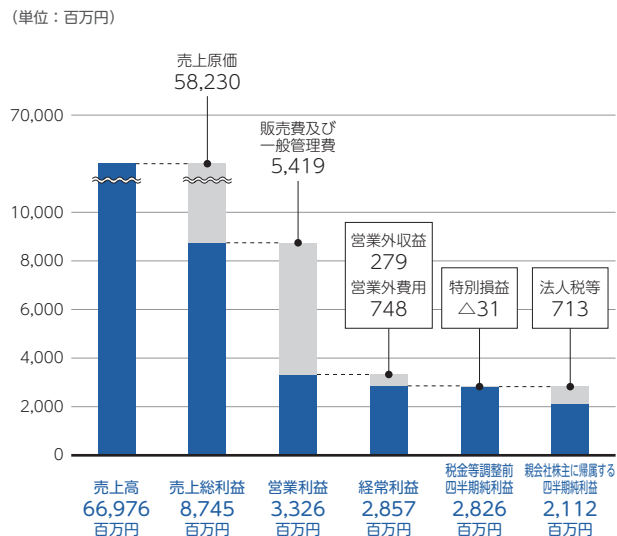
負債・純資産の部 (単位: 百万円)



Consolidated Financial Report

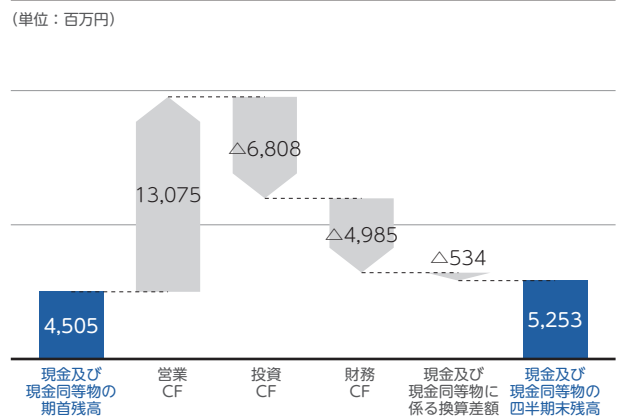
四半期連結損益計算書の概要

第96期第2四半期 (累計) 2016年4月1日から2016年9月30日まで



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

第96期第2四半期 (累計) 2016年4月1日から2016年9月30日まで

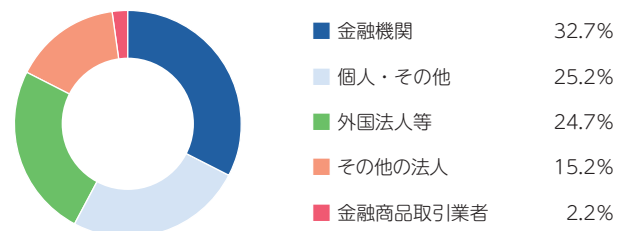


株式の状況

株式数及び株主数 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	26,027,720株
株主数	3,924名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.ahresty.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Stock Information

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,818	10.9
高橋 新	915	3.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	784	3.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	765	2.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	682	2.6
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	669	2.5
日本軽金属株式会社	657	2.5
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	637	2.4
MSCO CUSTOMER SECURITIES	602	2.3
アーレスティ取引先持株会	592	2.2

(注) 1. 株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(181,928株)を控除して計算しております。

ホームページのご案内

当社ホームページの「IR情報」では、株主の皆様へ最新情報をお届けしております。あわせてご覧ください。



トップページ

IRサイト

<http://www.ahresty.co.jp>

アーレスティ熊本の今

～熊本地震を乗り越えて～

熊本地震とその後

2016年熊本地震では、アーレスティ熊本も被災しました。
4月14日の地震発生後、順次生産設備の復旧・生産を開始しましたが、4月16日未明の本震により再度生産を休止しました。その後、安全確保に努めながら生産復旧に向けた対応を行い、4月18日より順次生産を再開しました。
現在通常通り操業しております。
ご支援いただきました皆様にお礼申し上げます。



震度5強の余震により全員広場に避難しました

被災者・被災地 支援義援金

アーレスティグループでは、被災者・被災地支援として義援金を募り、従業員からの義援金と同額を拠出しました（マッチングギフト方式）。義援金の総額は1,276,206円となり、その一部を熊本県宇城市に寄付しました。
被災された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。



宇城市役所に支援物資をお届けしました

(株)アーレスティ熊本 基本情報

- ・設立：1976年9月（熊本フソー株）
- ・事業内容：ダイカスト製品製造
機械加工、部品組付
- ・月産能力：500 tons
- ・敷地面積：34,342㎡
- ・住所：熊本県宇城市松橋町浦川内36



Corporate Information

■ 会社概要

(2016年9月30日現在)

商号	株式会社 アーレステイ	
設立	1943年11月2日	
資本金	69億3,909万円	
従業員数 (単独)	906名	
企業集団の従業員の状況	従業員数	
	ダイカスト事業日本	2,168名
	ダイカスト事業北米	2,788名
	ダイカスト事業アジア	2,046名
	アルミニウム事業	51名
	完成品事業	23名
	全社 (共通)	79名
	計	7,155名

■ 取締役

(2016年9月30日現在)

代表取締役社長	高橋 新
取締役	野中 賢一
取締役	石丸 博
取締役	蒲生 新市
取締役	金田 尚之
取締役 (監査等委員)	見目 康夫
社外取締役 (監査等委員)	早乙女 唯夫
社外取締役 (監査等委員)	志藤 昭彦
社外取締役 (監査等委員)	浜村 承三



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。